

第二部 調査結果の分析

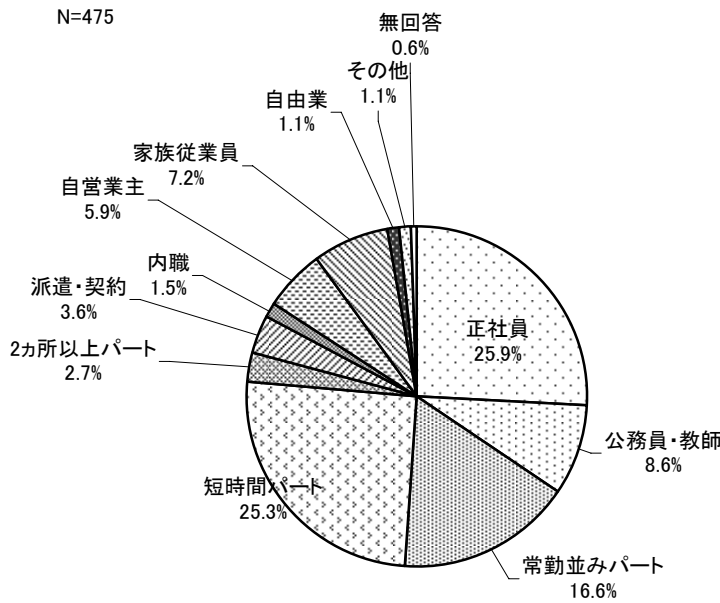
第1章 働いている女性の就業実態

(1)就業状況（問14）

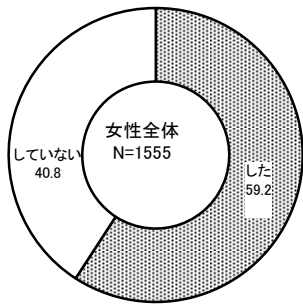
□非正規就業が1.2倍

岸和田市の女性の就業率は55.3%で95年より3.9ポイント減少している(10頁参照)。
 就業形態別にみると、多いのは「正社員」と「短時間パート」であり、次いで「常勤並みパート」「公務員・教師」である。正規就業の割合は「正社員」と「公務員・教師」を合わせ34.5%である。非正規就業の割合は「常勤並」「短時間」「2カ所以上パート」「派遣・契約」をあわせると(38.6%→48.2%)であり95年より9.6ポイント増加している。「家族従業員」「内職」「自由業」は共に95年より減少している。

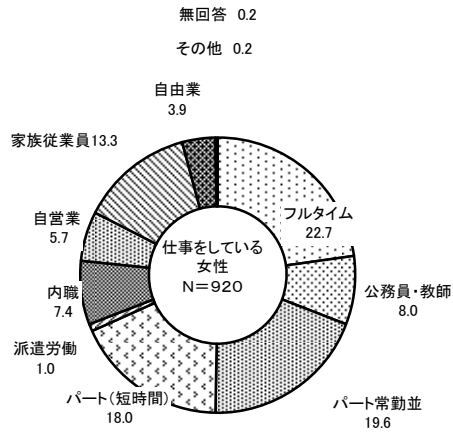
就業形態



95年就業の有無



95年就業形態

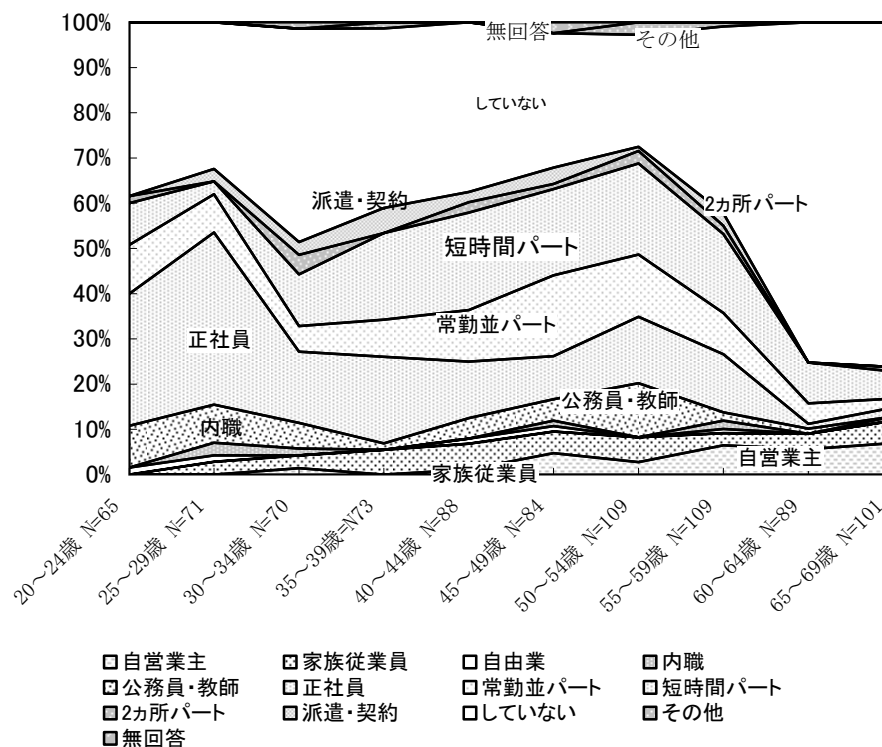


(2)年齢層別就業形態（問 14）

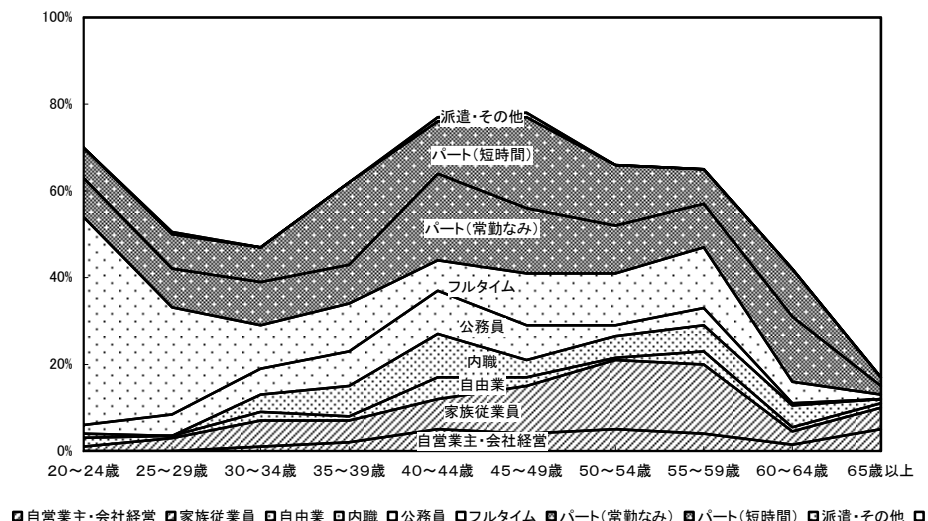
□高学歴化・晩婚化・高齢化を映し出した M 字型就業形態

仕事を「している」女性の就業形態を年齢層別にみると、「正社員」の多い 20 代後半と「パート」の多い 50 代前半の 2 点をピークにし、30 代前半を谷とした M 字型カーブを描いている。95 年は、「フルタイム」の多い 20 代前半と「パート」の多い 40 代後半がピークであり、今回 M 字が 5 歳高齢に移行している。これは、20 代で「結婚していない」女性の率が高く（45.9%→62.5%）、仕事を「していない」女性の内「通学している」（3.7%→27.1%）率が 7.3 倍となって、女性の高学歴化、非婚・晩婚化を反映したことが一因となっている。

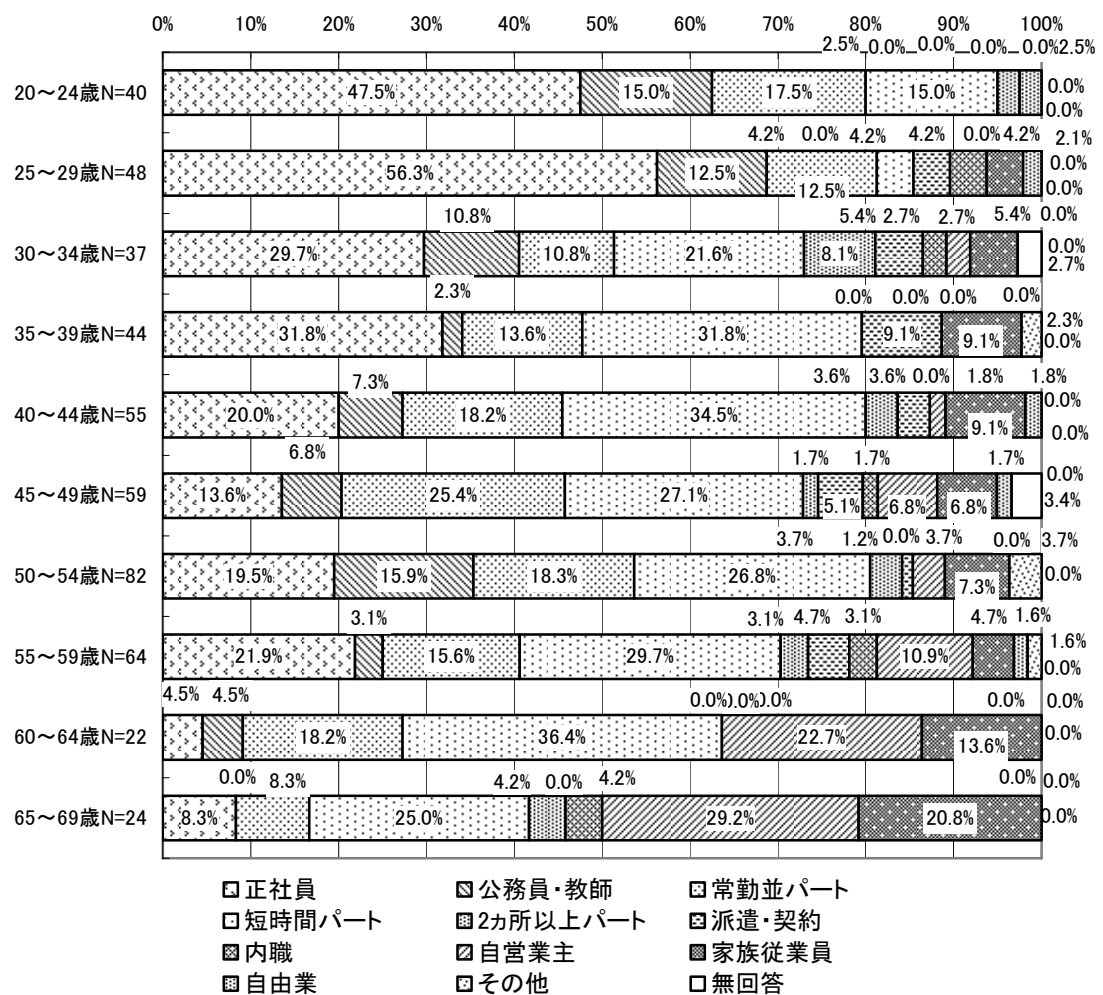
今回 M 字型グラフ



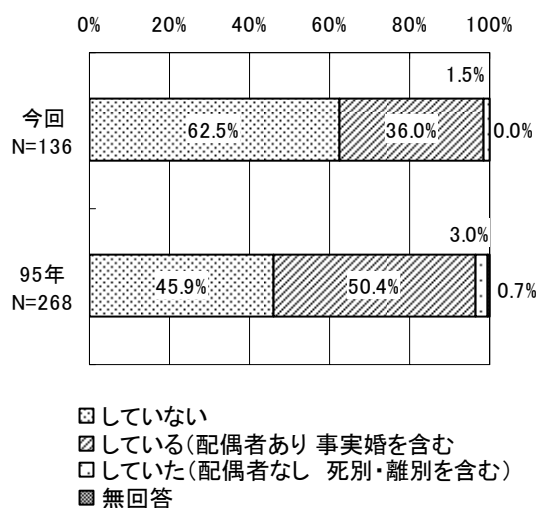
95年 M 字型グラフ



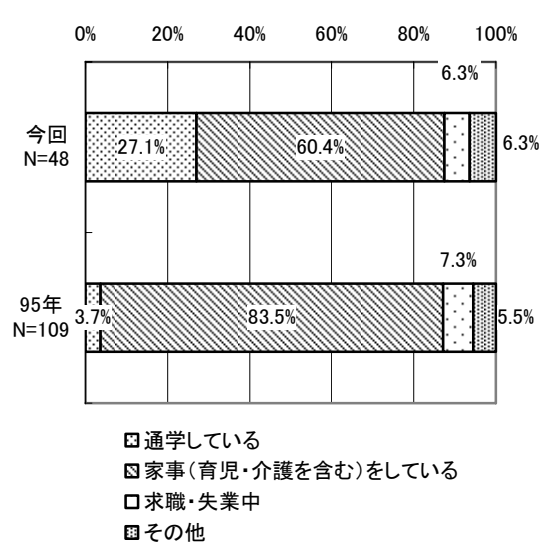
年齢層別就業形態



結婚の有無(20～29 歳)



仕事をしていない人が主に行っている事(20～29 歳)

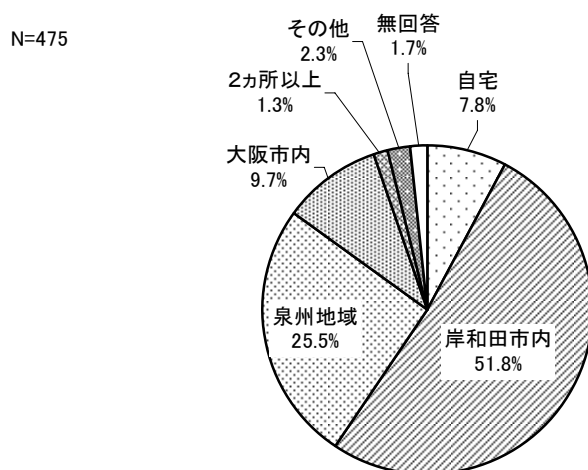


(3)勤務先(就業地) (問 15)

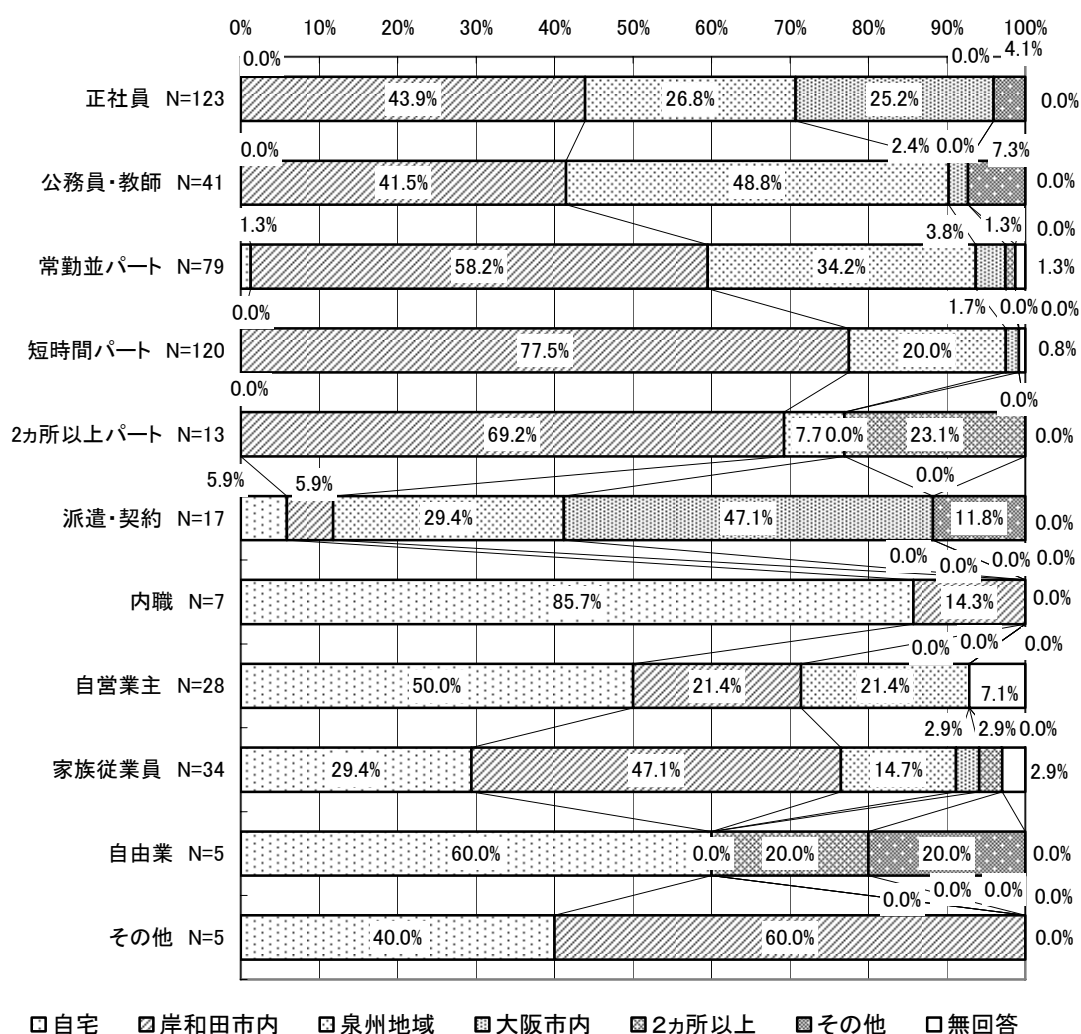
口岸和田市内が約 6 割・「派遣・契約」は半数弱が大阪市内へ

就業地は、「自宅」「岸和田市内」「泉州地域」の堺市以南で 85.1%を占めており、職住直近を選んでいることがわかる。就業形態別にみると「派遣・契約」だけ大阪市内（47.1%）が最も多い。

勤務先



就業形態別勤務先



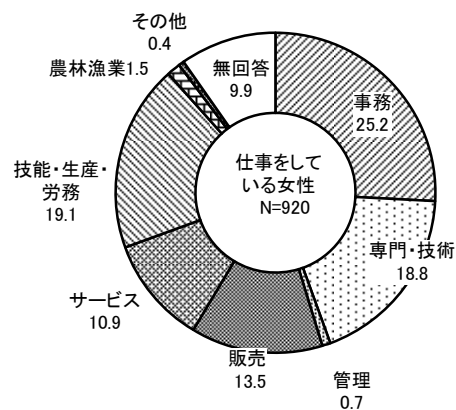
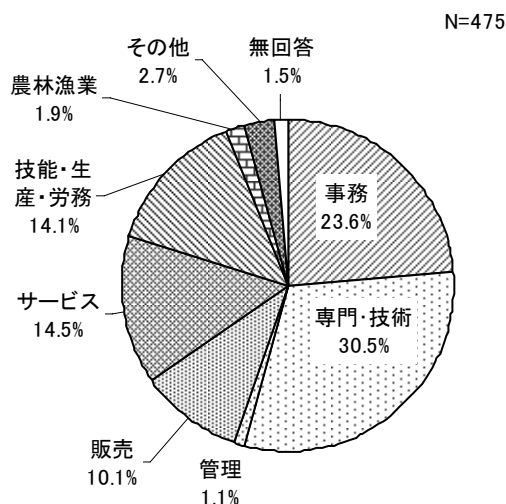
(4)職種 (問 16)

□「専門・技術」が増加

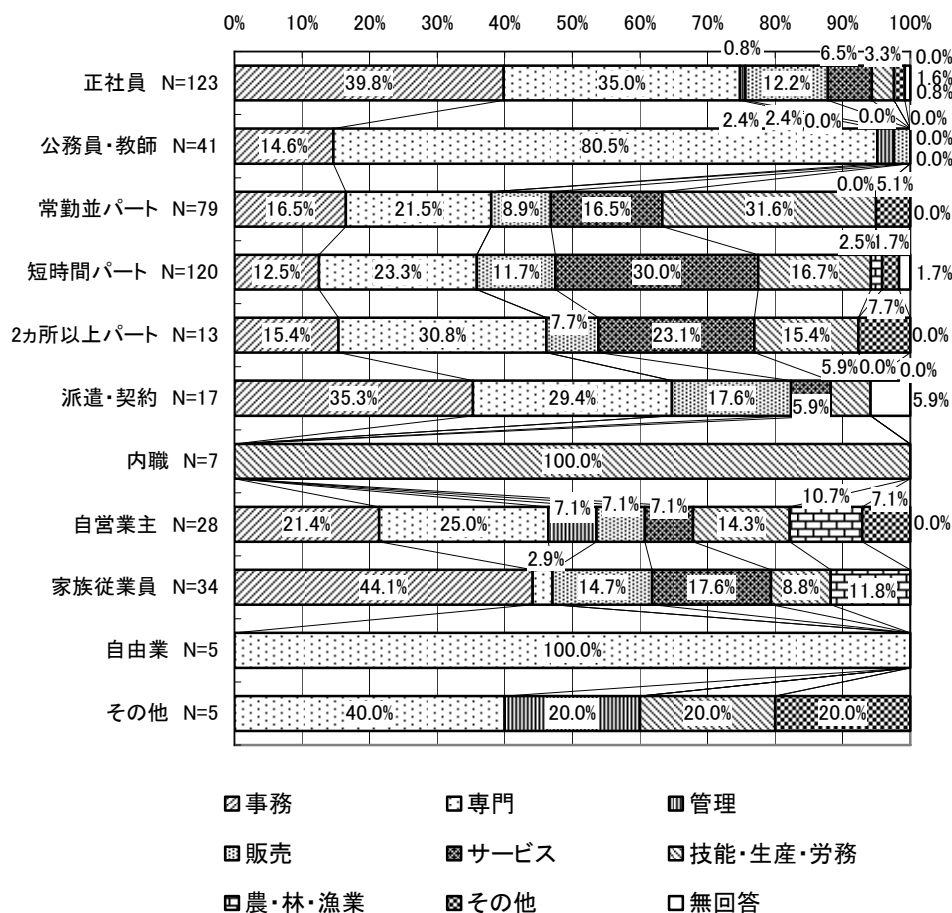
職種は「専門・技術」(18.8%→30.5%) が最も多く、95 年に比べて 1.6 倍に増加している。次いで「事務」「サービス」「技能・生産・労務」である。「専門・技術」が多い就業形態は「自由業」が 100%、次が「公務員・教師」である。

職種

95 年職種



就業形態別職種

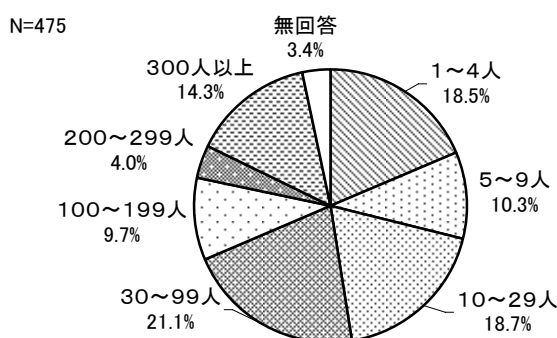


(5)事業所の規模 (問 17)

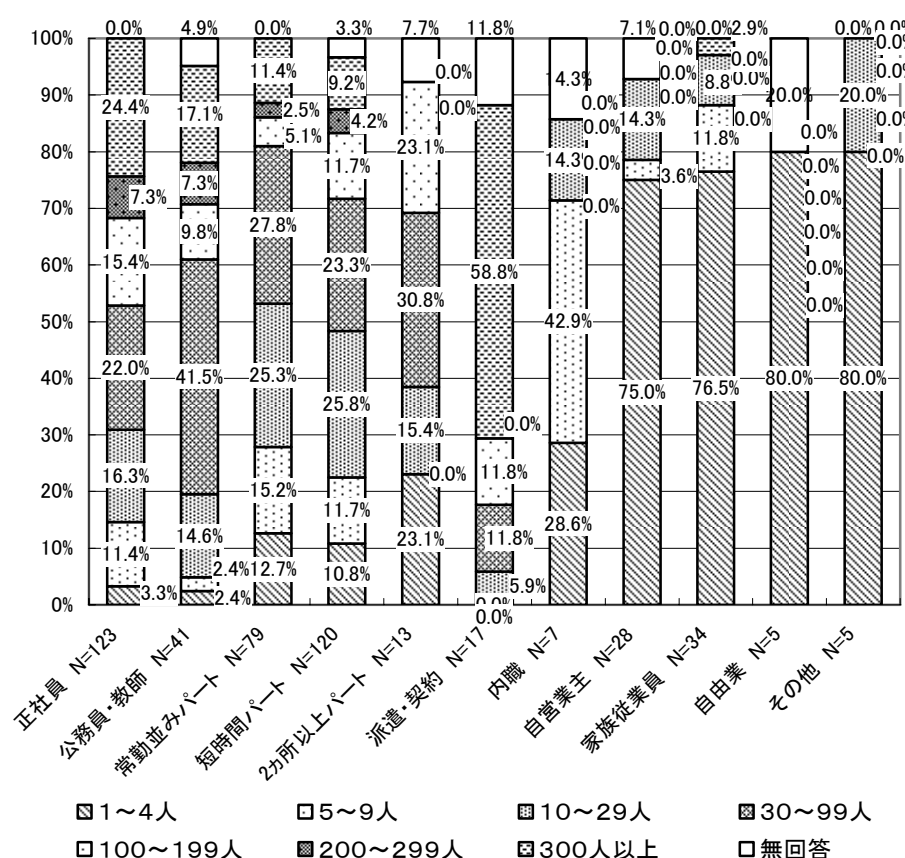
□従業員数「30～99 人」が最も多く、「派遣・契約」は、「300 人以上」

従事する事業所の規模をみると、「30～99 人」が最も多く 21.1%である。ついで「10～29 人」「1～4 人」「300 人以上」の順である。就業形態別にみると、「派遣・契約」は「300 人以上」が 58.8%を占め、「正社員」は「300 人以上」が 24.4%である。「公務員・教師」「2ヵ所以上パート」「常勤並パート」は「30～99 人」が多く「短時間パート」は「10～29 人」が多い。「自営業主」「家族従業員」「自由業」は「1～4 人」が多く、「内職」は「5～9 人」が 42.9%である。

従業員数



就業形態別従業員数



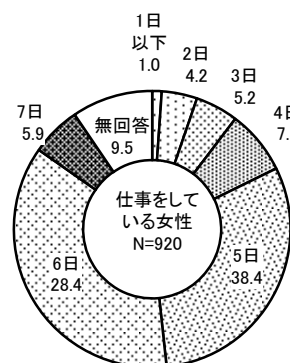
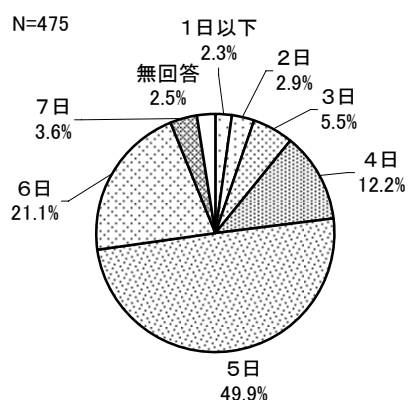
(6) 1週間の平均勤務日数 (問 18)

口週5日制が定着してきたが、「家族従業員」や「内職」「自営業主」は休みなしも・・・

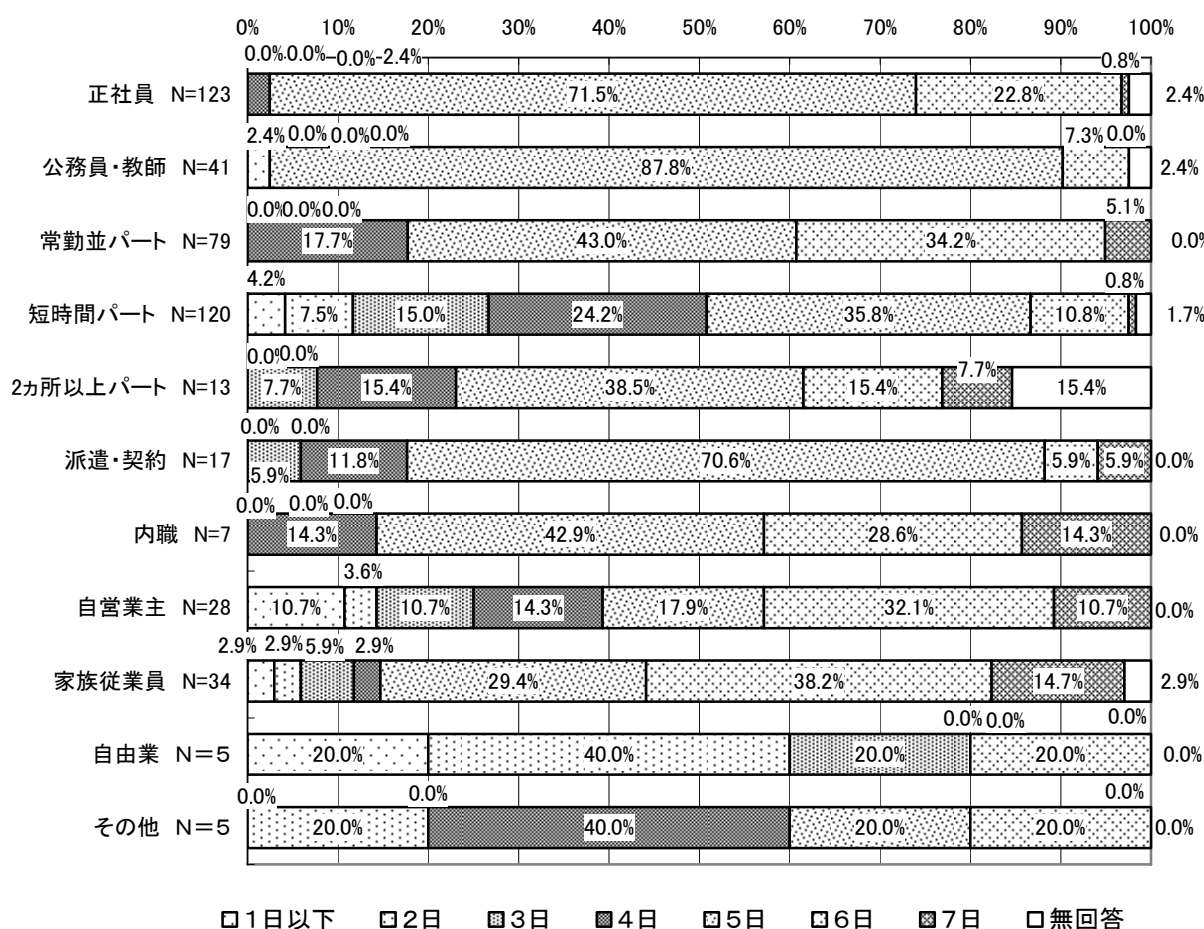
仕事を「している」女性の1週間平均勤務日数は、「5日」(38.4%→49.9%)で95年より11.5ポイント増加した。就業形態別にみると「公務員・教師」「正社員」「派遣・契約」の7割以上が「5日」である。「常勤並パート」「内職」と「短時間パート」も、「5日」が最も多い。「6日」が多いのは「家族従業員」と「自営業主」であり、「家族従業員」「内職」「自営業主」では「7日(毎日)」も10～15%を占める。

勤務日数

95年勤務日数



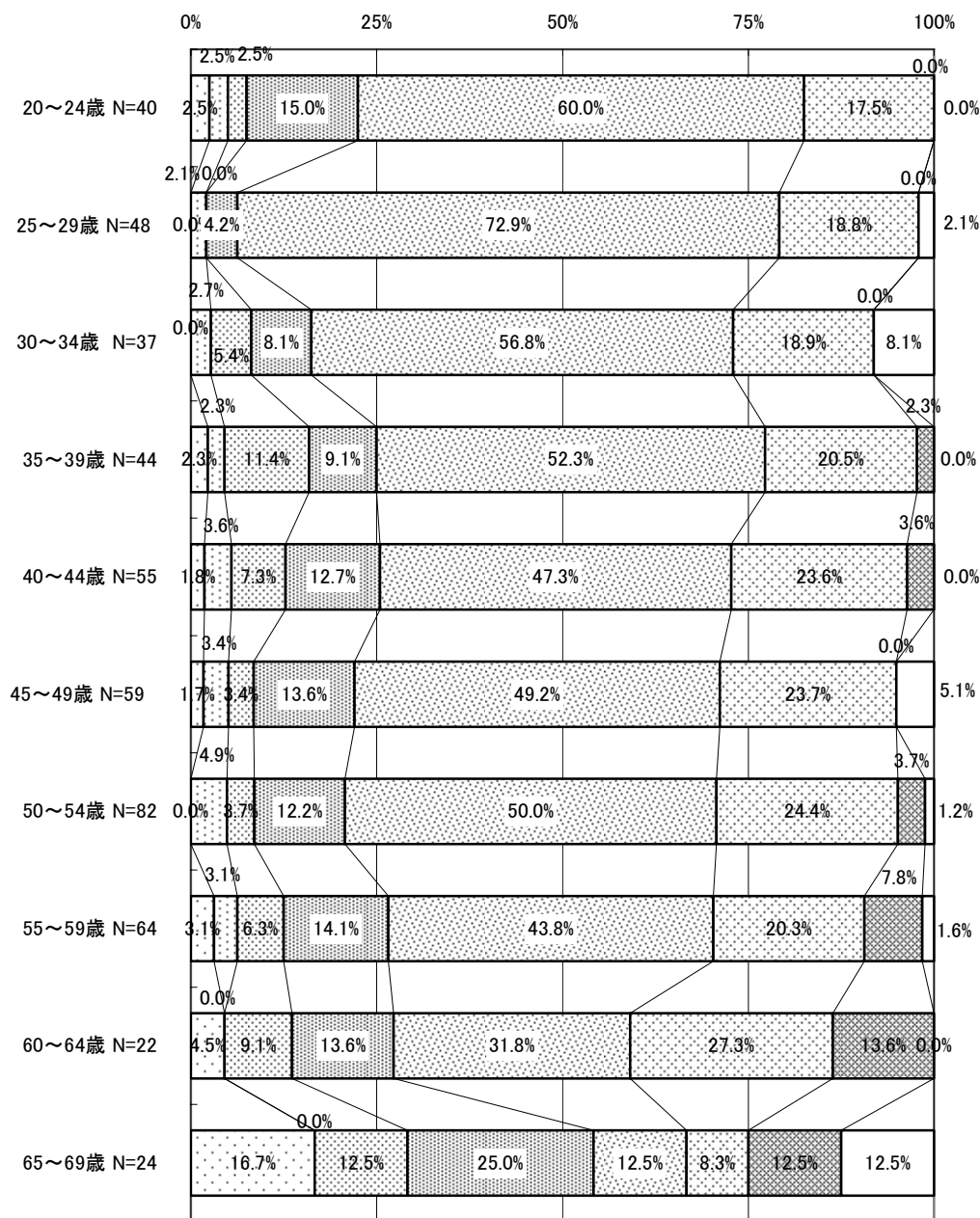
就業形態別 勤務日数



□60代の10人に1人以上が、「毎日」働く

年齢層別にみると、60代後半を除き、どの年代でも最も多いのが「5日」であり、なかでも多いのが20代で6割を超える。又50代後半から60代で「7日（毎日）」が増えているのは、この年代では仕事を「している」女性のうちで「家族従業員」と「自営業主」の占める割合が高いためと考えられる。（16頁、20頁参照）

年齢層別勤務日数



□1日以下 □2日 □3日 □4日 □5日 □6日 □7日 □無回答

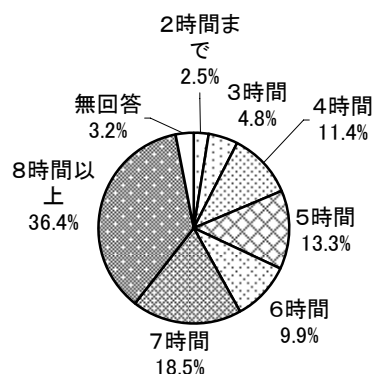
(7) 1日の仕事時間数 (問 19)

□7割近くが7時間以上働いている「常勤並パート」

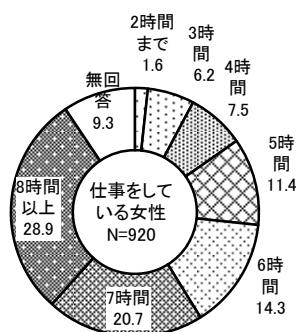
1日の仕事時間数は、「8時間以上」が36.4%と最も多く、95年の28.9%を7.5ポイント上回った(1.3倍)。
「正社員」では、73.2%、「公務員・教師」では82.9%が「8時間以上」である。さらに、「常勤並パート」の65.8%が「7時間」「8時間以上」の就労をしており「パート」であるにもかかわらず、「常勤」並に働いている。また「自営業主」の32.1%が「8時間以上」働いている。

1日の仕事時間数

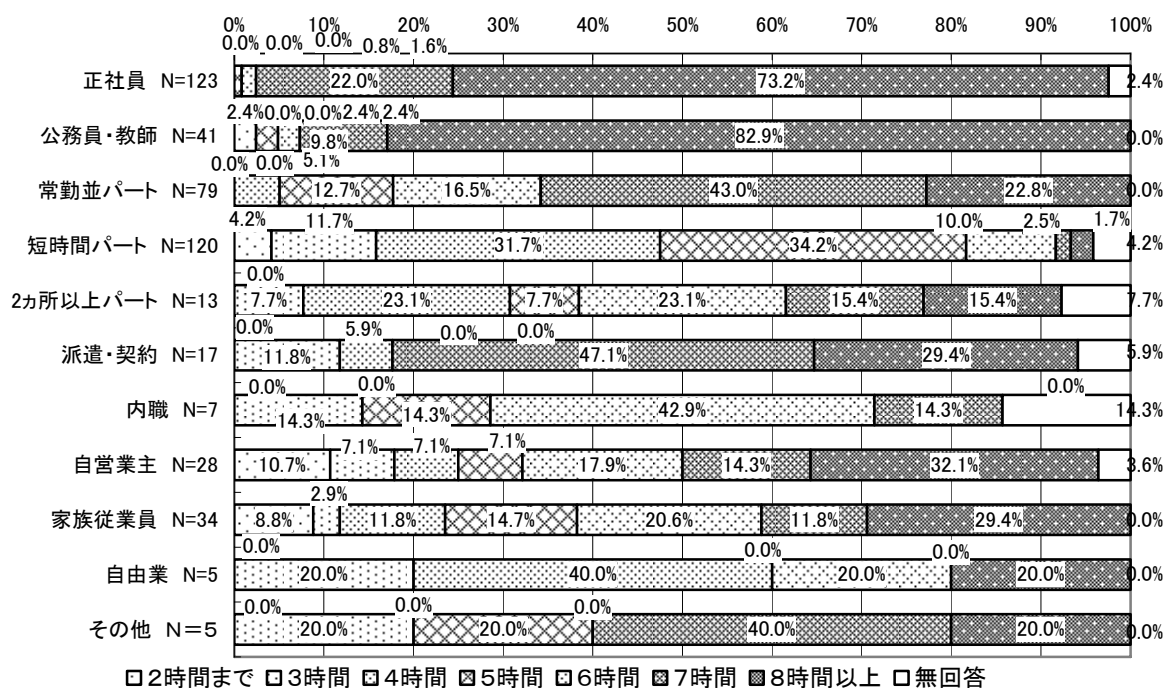
N=475



95年 1日の仕事時間数



就業形態別 1日の仕事時間数



□ 2時間まで □ 3時間 □ 4時間 □ 5時間 □ 6時間 □ 7時間 ■ 8時間以上 □ 無回答

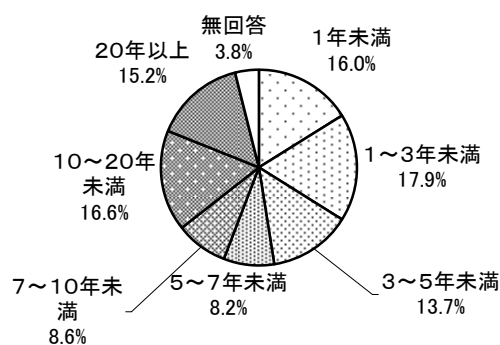
(8) 勤続年数（問 20）

□「非正規就業」や「内職」「自由業」では「5 年未満」が多い

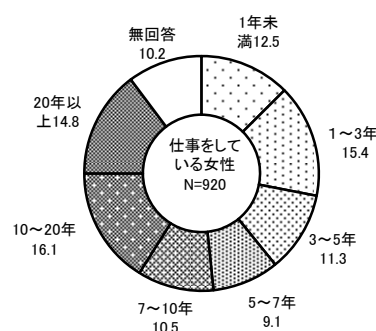
現事業所での勤続年数は、「1～3 年未満」が最も多く 17.9%、次いで「10～20 年未満」である。「5 年未満」の就業者を合わせると 47.6%となり、95 年の 39.2%を 8.4 ポイント上回る。就職形態別に見ると「20 年以上」は、「自営業主」「家族従業員」で多く、「10 年～20 年未満」を合わせると双方とも 70%以上となる。「パート」「派遣・契約」「内職」「自由業」は、「5 年未満」が多い。

勤続年数

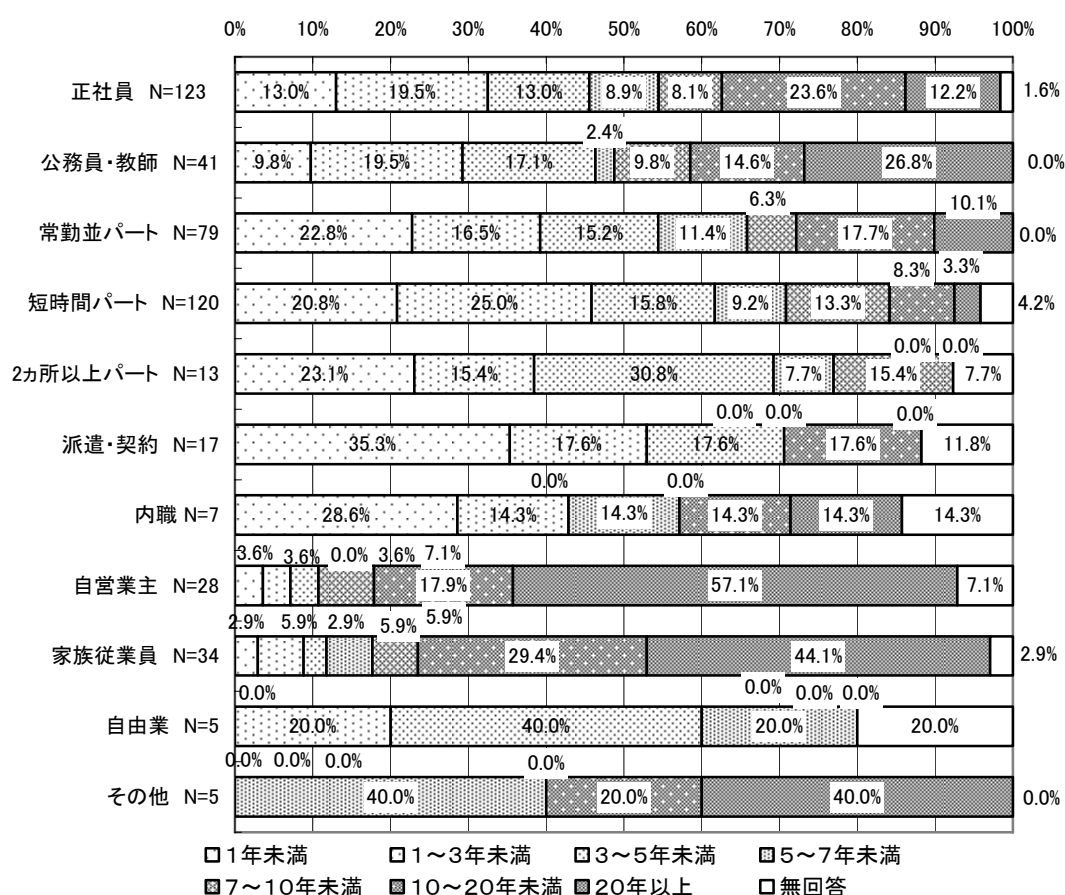
N=475



95 年勤続年数



就業形態別勤続年数

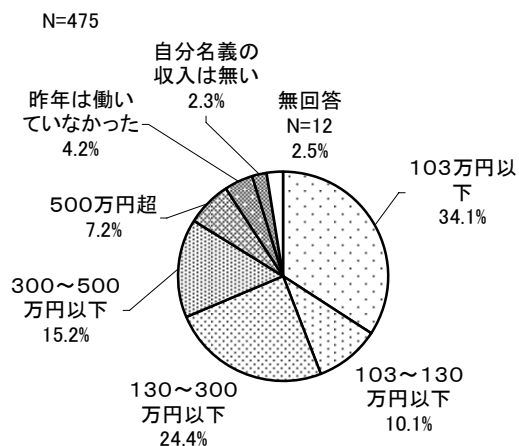


(9) 年収（問 21）

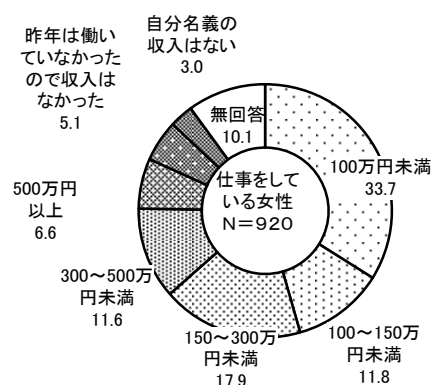
□仕事を「している」の 7 割が、300 万円以下

仕事を「している」女性の約 7 割が「0～300 万円以下」（63.4%→68.6%）の収入であるが、「300 万円超」（18.2%→22.4%）で 4.2 ポイント増加している。年齢層別にみると 20 代を除くすべての年代で「0～103 万円」が最も多く「300 万円超～500 万円以下」は 30 代が最も多い。「500 万円超」は 20 代で 0.0%、30 代 7.4%、40 代 7.9%であるが、50 代 12.3%と最も多くなる。また「自分の名義の収入はない」が 2.3%である。

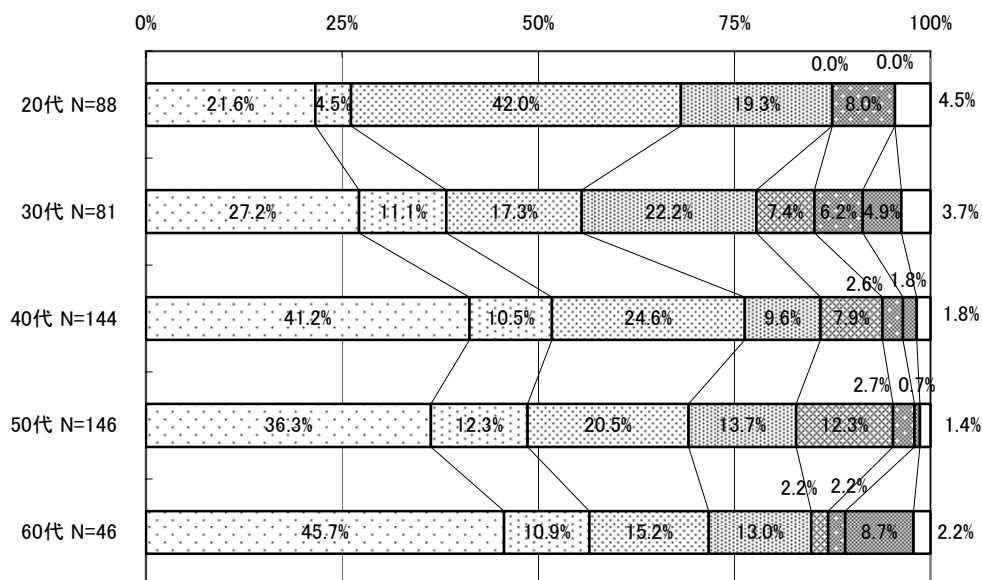
収入



95 年収入



年齢層別収入



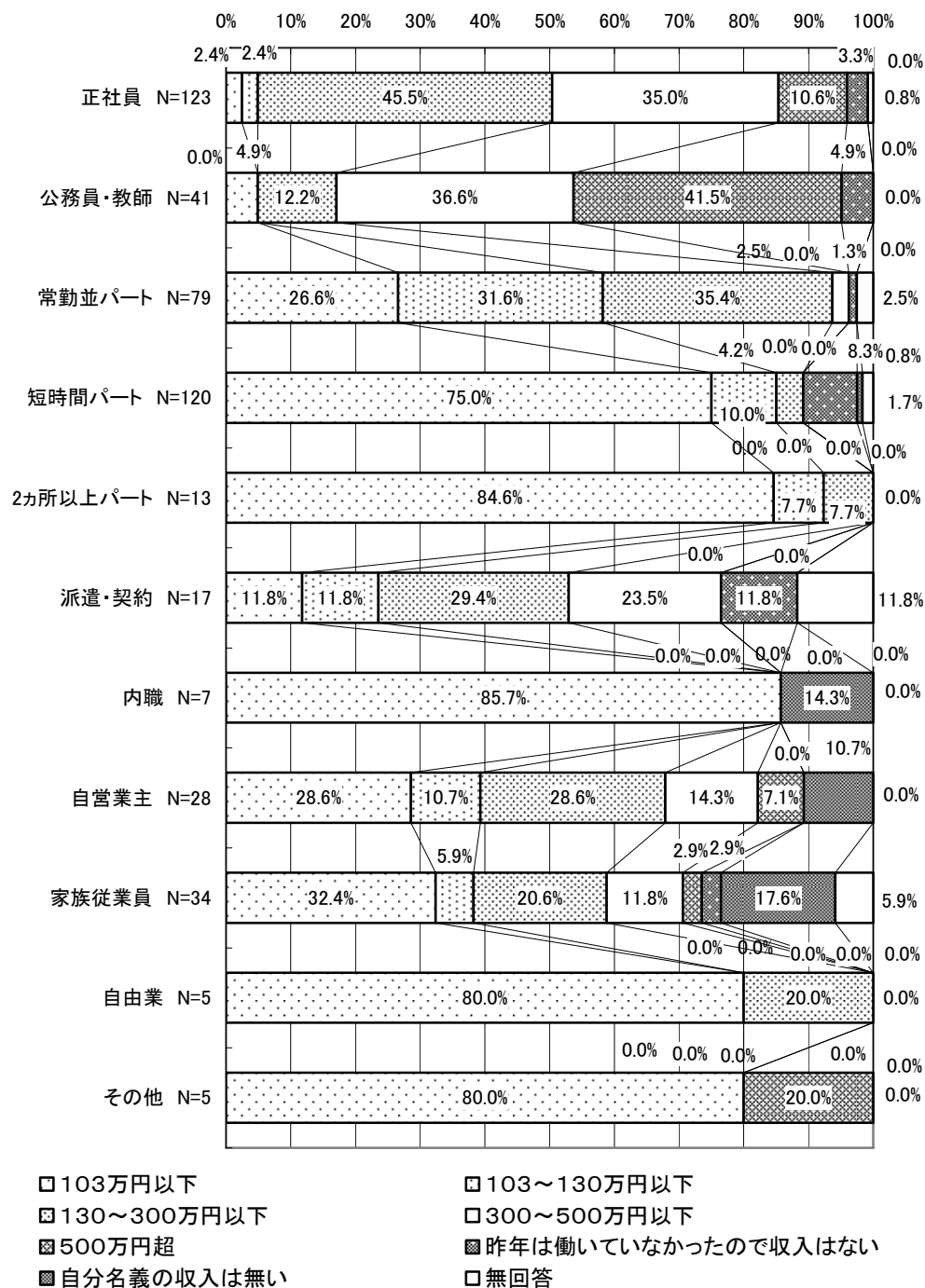
□ 103万円以下
 ▨ 130～300万円以下
 ▩ 500万円超
 ■ 自分名義の収入はない

□ 103～130万円以下
 ▨ 300～500万円以下
 ▩ 昨年働いていなかった
 ■ 無回答

□「公務員・教師」の4割強が「500万円超」、「内職」の8割以上が「103万円以下」

就業形態別にみると「正社員」「公務員・教師」では「300万円以上」がそれぞれ45.6%、78.1%と多く「内職」「自由業」「2ヵ所以上パート」「短時間パート」で、「103万円以下」が7割を超える。

就業形態別 年収



(10)昇進（問 22）

□「収入が増えるから昇進したい」

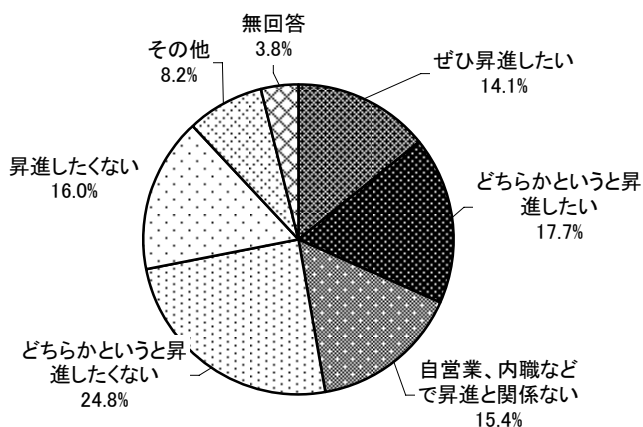
「あなたに昇進の機会が与えられたら」の問いに、「昇進したい」「どちらかと言うと昇進したい」があわせて3割以上を占める。その理由について、「収入増加」が最も多く、過半数を占める。

□「家庭との両立が難しくなるから」昇進したくないが4割

「どちらかと言うと昇進したくない」と「昇進したくない」をあわせると40.8%で「昇進したい」と「どちらかと言うと昇進したい」を上回っている。その理由については、多い順に「家庭との両立が難しくなるから」（41.2%）「責任があり仕事が大変になるから」（37.1%）「人間関係が難しくなるから」（11.3%）と続く。

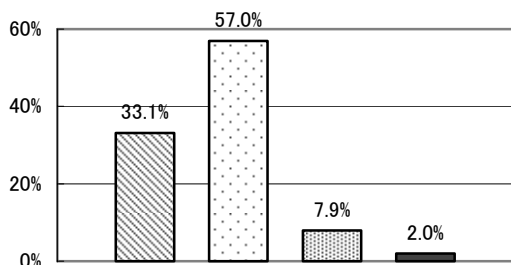
昇進

N=475



昇進したい理由

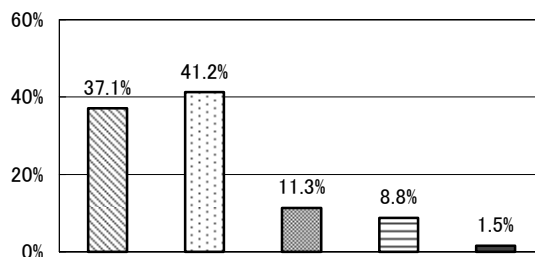
N=151



- 能力を十分発揮したい
- 収入が増加する
- 政策・企画など意思決定に参加したい
- その他

昇進したくない理由

N=194



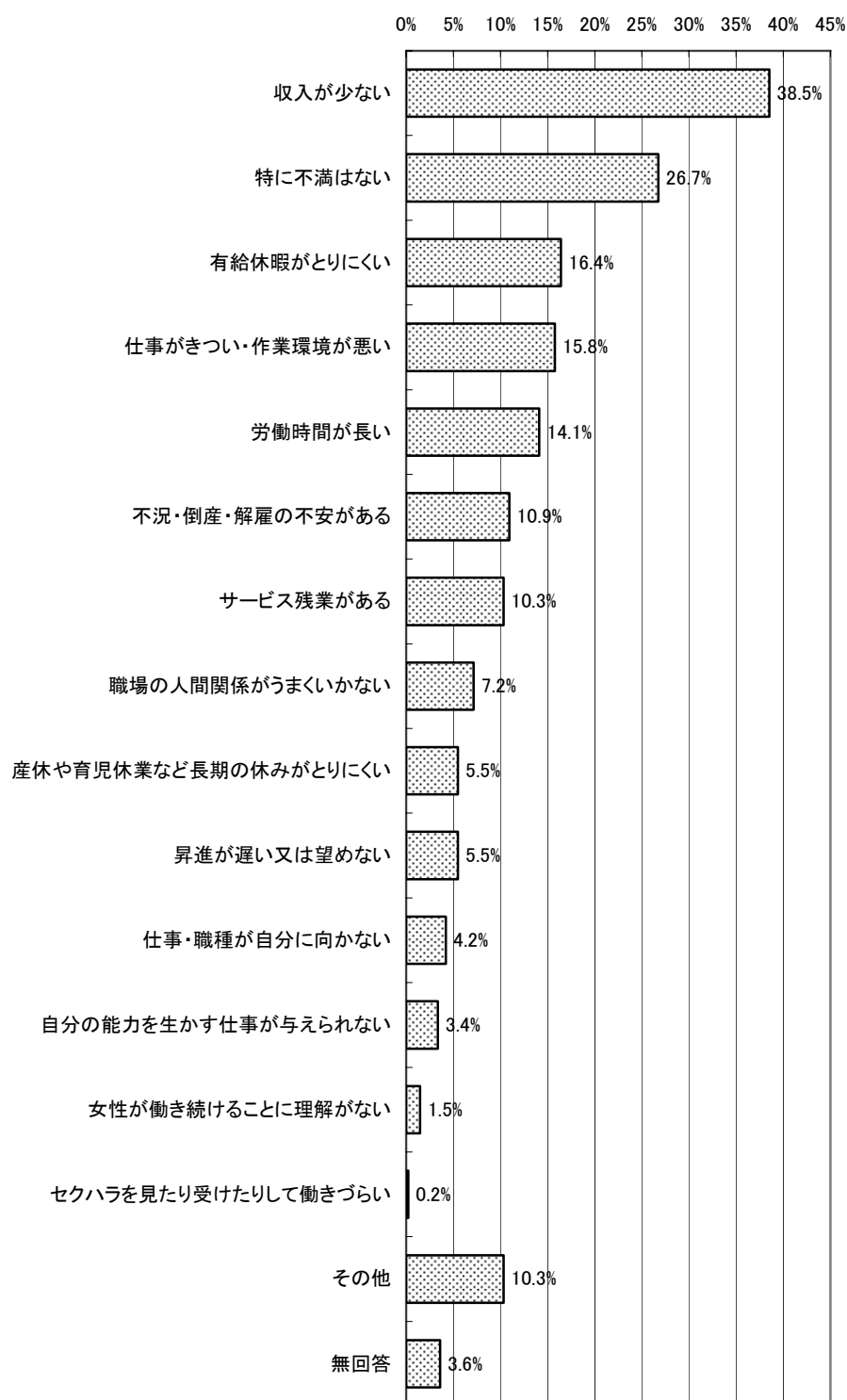
- 責任があり、仕事が大変になるから
- 家庭との両立が難しくなるから
- 人間関係が難しくなるから
- その他
- 無回答

(11)職場での悩み (問 23)

□不満は「収入が少ない」が約4割、「その他」の具体的記述で「正社員になれない」が多い

「現在の職場で悩んでいることや不満」については、「収入が少ない」が最も多く、つぎに「有給休暇がとりにくい」「仕事がきつい・作業環境が悪い」「労働時間が長い」と続く。「その他」の具体的記述では「正社員になれない」が多い。

職場での悩み (N=475 M.T.=170.5%)



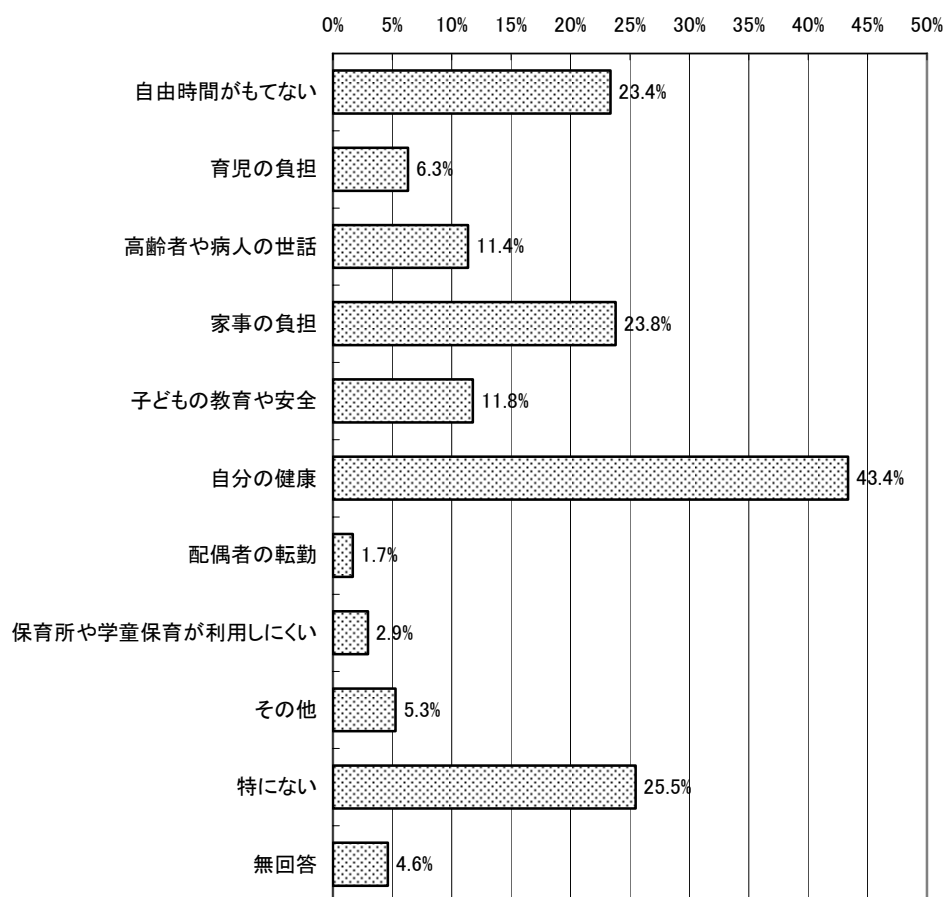
(12)職場以外での悩み（問 24）

□「自分の健康」「家事の負担」「自由時間がもてない」が3大悩み

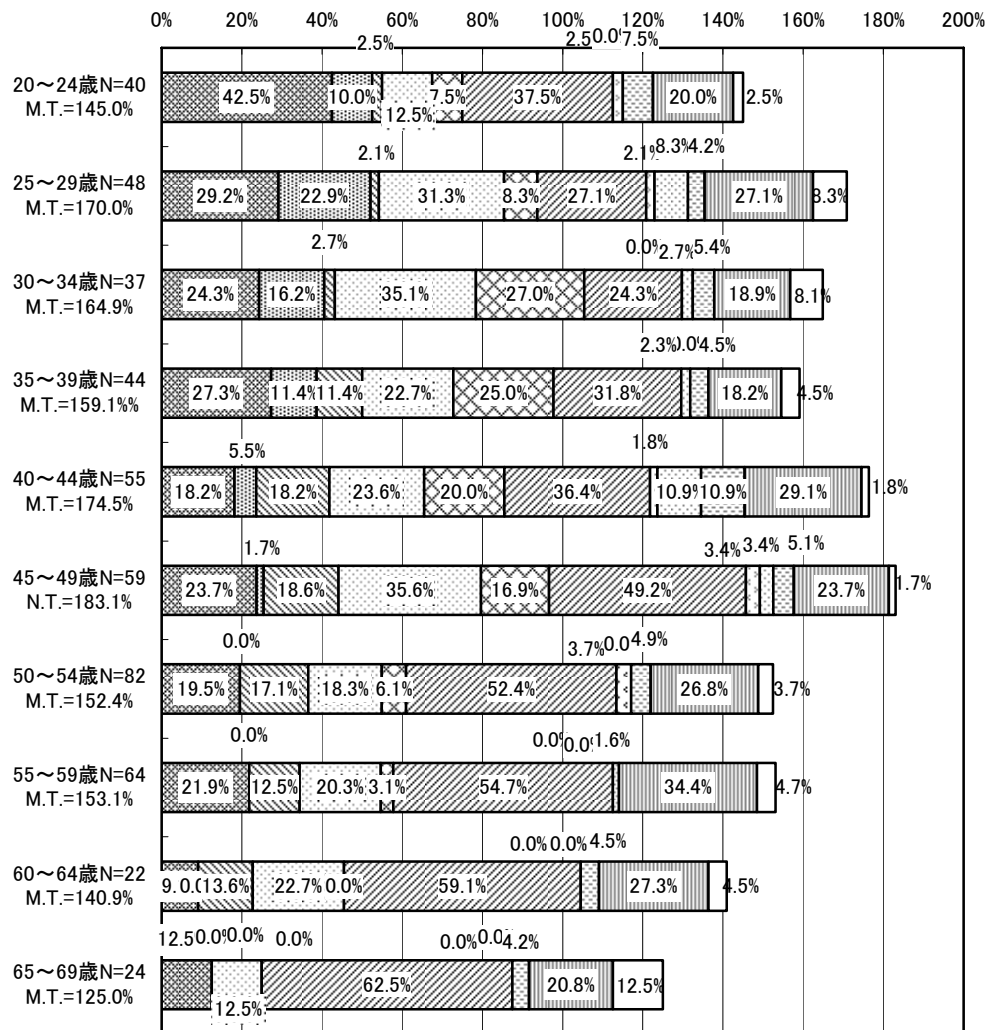
仕事を続けるにあたって、職場以外での悩みについては、「自分の健康」「家事の負担」「自由時間がもてない」が上位3つの悩みである。「自分の健康」と答えたのは、40代後半で5割近くになり、50代、60代と年齢が増すほど高率になる。一方20代前半でも37.5%と高く、健康への不安はほぼ全ての年代で共通の悩みである。30代前半では「家事の負担」と「子どもの教育や安全」が多い。

「その他」の具体的な記述では、「老後の生活」が多く「家族の介護」や「子どもとの時間が少ない」なども記述されている。

職場以外での悩み（N=475 M.T.=160.0%）



年齢層別職場以外での悩み



- 自由時間がもてない
- 育児の負担
- 高齢者や病人の世話
- 家事の負担
- 子どもの教育や安全
- 自分の健康
- 配偶者の転勤
- 保育所や学童保育が利用しにくい
- その他
- 特にない
- 無回答